

10日(出) ・11日(日)	第36回白梅まつり
17日(出)	第52回福生ほたる祭
18日(日)	第35回福生市民音楽祭みどりのハーモニー2017



今号の主な記事 2面「福生ライフ」編集員募集 3面福生七夕まつりイベント等の参加者募集 4面市民環境大学「ふっさECOカフェ」参加者募集 5面加藤市長が「1日民生委員」としてPR活動を行いました 6面前立腺がん検診のお知らせ 7面市営プールでカヌーに挑戦!

見てほしい景色がある

～光に感じる命の尊さ～

福生の初夏の風物詩「ほたる祭」。

美しいホタルの光の裏には、ずっと「福生ホタル研究会」の活動がありました。

昭和40年ごろまで、市内には多くのゲンジボタルが生息していましたが、都市化と共にホタルは減少。そんなホタルを保護するため、昭和43年に福生ホタル研究会は発足され、長年ホタルを飼育する活動を続けています。

10年間会長を務める市川さんは、「ホタルは弱い生き物なので、命の尊さを感じながら観賞してもらいたい。」と言います。

たくさんのホタルが放流されるほたる祭について何うと、「私たちが大切に育てているゲンジボタルは、ホタルの中でも最も強く光を発します。ホタル観賞時はカメラやスマートフォンからではなく、自分の目でホタルの光を楽しんでほしいですね。」そう答える市川さんは、愛おしそうに育てているホタルを見つめていました。



市川 重一さん

福生ホタル研究会 会長

●第52回福生ほたる祭●

市川さんを始めとする「福生ホタル研究会」の方々が大切に育てたゲンジボタルを鑑賞できるイベントです。

「福生ほたる祭」は、地域の方々の手によるお祭りとして、その伝統を引き継ぎ、今年で52回目を迎えます。また、会場周辺では模擬店が数多く並び、特設ステージでは催し物が披露されます。

【日時】6月17日(出)午後1時～9時※小雨決行、中止の場合は翌日に順延

【場所】ほたる公園・玉川上水青梅橋付近※駐車場はありません。

【主催】熊川牛浜町会ほたる祭実行委員会

【問合せ】福生市観光案内所(くるみる ふっさ) ☎530・2341

全力投球



福生市長 加藤育男

ふっさ輝きフェスティバルにて

恒久平和を望む

今、市民とお話をする、北朝鮮関連の質問をよく受けます。米軍横田基地に隣接する福生市です。心配されるのもよく分かります。米国もトランプ大統領に代わり、これからの動向が気になる場所です。国家間の問題と片付けられず、私も防衛省、米国大使館、横田基地などで機会があるごとに情報収集に努めています。

先日、市ヶ谷で開催された日米エアフォース友好協会(JAAGA)主催の講演会に出席しました。講演では在日米軍司令官のJ・マルティネス中将が日本を取り巻く安全保障環境について、対ロシア、中国、北朝鮮との現在の状況を、第5空軍司令官を兼ねている立場からお話されました。平成28年度の航空自衛隊の緊急発進(スクランブル)回数は1,168回にのぼり、その7割が対中国だったこと、また北朝鮮のミサイル発射にも言及され、この状況を憂慮し、日々緊張感を持って任務にあたっているが、誰もが平和を望んでいるということをお話されました。

私も福生市長という立場ではもちろん、1人の人間として、大切な人の幸せを守りたい、世界が平和であって欲しいと強く願っています。いま自分にできることに、全力で取り組むつもりです。

